

川上ダム通信

2016
1
月号



Vol. 124
Since 2005

独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)

川上ダム通信は川上ダムホームページでもご覧いただけます。
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami> 又は「川上ダム通信」で検索
ご意見・ご感想はこちらへ <mailto:somu1@lily.ocn.ne.jp>

新年のご挨拶

あけましておめでとうございます。平素から川上ダム建設事業につきまして深いご理解と温かいご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。年頭にあたり、職員を代表してご挨拶申し上げます。

昨年12月、パリで開かれた気候変動枠組条約第21回締約国会議（COP21）において「パリ協定」が採択されました。京都議定書以来18年ぶりの地球温暖化対策に対する大きな枠組みの変更になります。この背景には世界レベルで頻発する異常気象や自然災害、洪水や渇水被害に対する危機感があると思います。日本においても、昨年9月には関東、東北地方で線状降水帯による集中豪雨により河川堤防の越水・破堤が相次ぎ、多大な被害が生じました。全国各地、いつどこで大きな災害が起こるとも限りません。

このような中、昨年6月に上野遊水地が運用を開始し、7月19日に举行された運用開始式典では多くの方々から「次は川上ダム」の声をいただきました。木津川、淀川の治水には上野遊水地、川上ダム、河道掘削の三点セットで大きな効果を発揮しますので、川上ダムの早期完成に向けて決意を新たにいたしました。また川上ダムは伊賀市の水利用においても重要な役割を果たすものですので、安定した水源を一日も早く確保することが必要と考えています。

川上ダムは本体工事の公告から試験湛水まで約6年と見込んでいますので、事業工期「平成34年度まで」に向けて、本体工事までに行う必要のある諸手続や各種補償をしっかりと進めるとともに、本体工事発注のための設計や施工計画を固めていきます。さらに本体工事に向けての準備工事にも着手してまいります。工事では、付替県道青山美杉線の最終工区の工事が今年是最盛期となり、それが概成した後に舗装や標識設置等の付帯工事を行い、平成29年度内に全線供用開始するよう進めます。そのほか河川の流量観測や地下水調査、各種環境調査も継続的に実施します。

最後になりましたが、新たな年を迎えて職員一同も気持ちを新たに事業の推進に努めてまいります。読者の皆様方のご多幸を祈念いたしますとともに、引き続き温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。



【所長 加納茂紀】

高尾区事業説明会を開催

12月11日（金）、川上ダムの上流にある高尾区の住民の方々14名が、川上ダム建設事業の進捗確認のため来所されました。

現在、県道青山美杉線は、道路脇の斜面崩落により川上ダムができる区間において通行止めとなっており、高尾区をはじめ、県道青山美杉線を利用される方々には上下流の行き来が大変ご不便をおかけしています。川上ダム建設所では、付替県道青山美杉線を完成させ、一日も早く新しい道路を通行いただけるように日々努力しております。

今回は、当建設所においてダム工事並びに付替道路の進捗、環境保全対策に関する説明を行ったのち、ダム建設予定地、付替県道青山美杉線工事の状況を間近で見させていただき、現在の進捗をご確認いただきました。

参加された方々からは、「県道青山美杉線が通行できず不便を感じている。」「迂回している道路は、冬期には凍結もあり危険が伴う。付替県道青山美杉線を早く通れるよう努力してほしい。」「平成29年度内に付替県道が通行できると言っているが、できる限り早く工事を進めてくれ。」と、県道青山美杉線に対する切実な要望、ご意見をいただきました。

当建設所といたしましては平成29年度の付替県道青山美杉線の一日も早い通行開始に向け、現在進めている区間の工事を安全かつ確実に実施していきます。それまでの間、ご不便をおかけいたしますが、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。



付替県道工事の進捗状況を確認されるみなさん

付替県道青山美杉線では、今こんな工事を行っています。



黄色の破線は、将来の道路ができる高さ

付替県道青山美杉線の工事状況

現在、アンカー工と呼ばれる法面对策を行っています。これは、地盤に穴をあけて、その中に太いワイヤーを入れて固定し、斜面が崩落しないよう安定化を図るものです。

左上の写真は、直径10cm程度の穴を掘る機械です。この機械で、地盤のなかの岩盤に到達するまで穴をあけます。ここでは、堅い岩盤へ達するまでに15～20mくらいの長さの穴が必要となっています。

左下の写真は、斜面の表面を押さえるための板を取り付けた状態です。



先輩から後輩へ受け継がれる『技術』

12月3日（木）、川上ダム建設所において、水資源機構でこれまでに蓄積されてきた技術を職員がしっかり受け継ぎ、事業に反映させることを目的とした「技術伝承会」を開催しました。

当日は、講師の加納所長から職員に向けて、所長自身がダム現場等で得た経験や知識について様々な事例を交えて講義がありました。図面や工事現場を確認する時に「何かおかしくないか？」と常に問題意識を持つことの大切さや、当初の計画や想定と異なる事象が発生した時の対応から学んだことなどについて話がありました。

近年、ダム建設現場を経験する機会が減少している中で、若手職員が経験豊富な先輩職員から直接指導を受けることができ、大変有意義な会となりました。

この技術伝承会の他にも各課の職員が持ち回りで講師を務める学習会を定期的で開催するなど、職員の技術力向上に努めています。これらの勉強会を通して、より一層職員の技術力を高め、川上ダム事業に活かしていきたいと考えています。

【調査設計課 森谷崇正】



熱心に講義を受ける職員

快適な職場環境づくりに向けて

12月14日（月）、一般社団法人日本産業カウンセラー協会から講師をお招きし、「心の健康づくり」と題して職員を対象としたメンタルヘルス研修会を開催しました。内容は、メンタルヘルスやストレスに関する基礎知識に加えて、12月から事業者が義務づけられたストレスチェック制度も含んでいます。

講演では、健康とは「心の健康」＋「体の健康」であり、特にセルフケアが重要であることや、ストレスへの気づきがセルフケアの第一歩

であることなどをわかりやすい語り口で説明していただきました。また、ストレスとうまく付き合うことが大切で、ストレスコーピング（ストレスと付き合うこと）の一例として※セロトニン式呼吸法を実践的に学びました。続いて参加者全員で、ストレスチェックに用いられる「職業性ストレス簡易チェック表」を試してみ、その結果から自分のストレス状況を確認しました。

今回学んだことを活かして、明るく快適な職場環境づくりと効率的な業務遂行につなげていきたいと考えています。

※セロトニン式呼吸法：精神をリラックスさせる精神伝達物質（セロトニン）を意識的に増やす呼吸法



ストレスチェック実施中

【総務課 木村数也】

移植したコガマは立派に成長！

川上ダム通信2015・1月号で紹介しました、平成26年10月にプランターから移植を行った38個体のコガマは、平成27年4月頃から新芽が数多く出始め、7月には背丈約170cmにまで成長し、8月には17個の花穂^{かすい}を付けました。これはプランターで育てた個体と比べてもとてもよく成長しています。

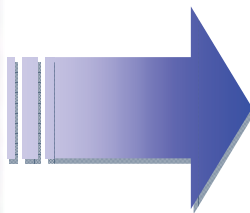
移植したコガマが順調に成長していることから、さらに個体数を増やすため、平成27年11月に当建設所のプランターで育てていたコガマを用いて同じ場所に移植を行いました。ぬかるみに足をとられながらの作業で大変苦勞しましたが、約80個体を無事に移植することができました。移植した個体がこのまま成長してくれることを願います。

移植には、その種に適した移植地の選定や移植の時期について考慮する必要があります。事前に専門家からアドバイスを頂き、移植地の日照時間を計測することや、コガマの生育に最も影響が小さい10～11月に移植すること等を決めていきました。こうした事前の調査も移植を成功させるためには重要な要素となってきます。

また、忘れてはならないのが地権者の方の協力があって移植ができているということです。地権者の方にはこの取組みを丁寧に説明し、土地の使用を許可して頂きました。地権者の方に深く感謝しつつ、今後もコガマの成長を見守っていきます。



移植時のコガマの状況
(H26.10撮影)



移植後のコガマの状況
(H27.8撮影)

【環境課 金井大輔】

本紙に対するご意見と掲載記事を募集します♪

当建設所では、読者の皆様により一層親しみながら川上ダム通信をお読み頂けるよう、本紙に対するご意見や掲載記事を募集しています。詳細については、下記までお問い合わせくださいませようお願いします。

【問い合わせ先】 総務課 梅村 TEL: 0595-52-1661 Mail: somu1@lily.ocn.ne.jp

※掲載記事については、広告など営利目的のものはお受け致しかねますのでご了承下さい。

イベントのお知らせ

大村神社初詣

開催日：1月1日(金)～1月7日(木)

開催場所：大村神社

お問い合わせ：大村神社

TEL：0595-52-1050

【広報誌発行事務局】

編集長 加納(所長)

デスク 梅村(総務課長) 小谷口(工務課長兼工事課長)

記者 山下(総務課) 本山(第一用地課)

古川(第二用地課) 藤本(調査設計課)

廣瀬(環境課) 日隈(工務課)